

第2学年

	指導上の課題	指導の在り方	授業改善の視点
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字や助詞、句読点、かぎの使い方を理解し、適切に使うことに課題がある。 適切な声量、速さで話すこと、大事なことを落とさないように聞くことに課題がある。 事柄の順序に沿って、つながりのある文章を書くことに課題がある。 文学的な文章や説明的な文章など、長い文章を正確に読む力に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切に使うことできるように繰り返し指導する必要がある。 適切な声量、速さで話したり、相手の話の内容に興味をもって最後まで聞いたりする力を育てる必要がある。 構成を考えてから書く力、順序を表す言葉を入れて語と語や文と文をつなぐ力を身に付けさせる必要がある。 順序、様子や行動を表す言葉に着目し、根拠をもとに読む力を育てる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習ノートやドリルなどで繰り返し丁寧に練習したり、單元ごとにテストをしたりして、正しく定着できるようにする。 朝の会のスピーチなど、日常的に話す・聞く機会を増やす。話す・聞くポイントを指導し、よいところを認めたり、聞き取りクイズをしたりすることで、力を高めていく。 はじめ・中・終わりの順序を意識してメモを作ってから文章にするなど、段階的に指導する。順序を表す言葉を使って文章を書くことに慣れるよう、日常的に取り入れる。 順序、様子や行動を表す言葉などにサイドラインを引いたり、書き抜いたりしながら、読みを深めていく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 前学年での既習内容の定着に個人差がある。 物差しを使って直線を引くことや、長さを正確に読むことに課題がある。 時刻の読み取り、時刻の計算に課題がある。 量感の定着に個人差がある。 文章問題の題意を理解し解決することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習内容を確認しながら、数の仕組みや加減の計算が身に付く指導が大切である。 物差しの正しい使い方が身に付く指導が大切である。 具体的な生活場面と結びつけながら、時間や時刻の理解ができるようにする指導が大切である。 量感が身に付く指導が大切である。 文章を読み取る力、立式の根拠を説明する力が身に付く指導が大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリルを活用し、習熟に応じた個別指導を取り入れる。 物差しの押さえ方や読み取り方を繰り返し指導する。物差しで直線を引いたり、長さを測ったりする活動を十分に取り入れる。 実際の生活場面で、時刻や時間を読み取る活動を取り入れる。時計の模型を使い、実際に動かしながら、針の動きや時間の移り変わりを指導する。 体験的な学習を取り入れる。 問題文を読み、分かっていること、求めることに着目させ、問題場面をイメージして立式できるようにする。自分の考えを文や絵、図で表現したり、根拠となる考えを説明したりする活動を取り入れる。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 植物の観察や地域と関わる活動を通して気付いたことや思ったことを、自分の言葉で、具体的に表したり振り返ったりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 植物や地域と関わる活動を通して、気付いたことや思ったことを表現する力や振り返る力を向上させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現方法を例示したり書くポイントに気付いている児童の文を紹介したりして、書き方を示す。 観察しながら、身の回りの様子や変化等に注目できるように見るポイントを伝えていく。 学習カードを取り入れ、全体で共有し、表現力や振り返る力を伸ばす活動を取り入れる。

音 楽	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想や音楽の構造を意識することに課題がある。 ・鍵盤ハーモニカの演奏では、指使いに気を付けられるようになってきたが、まだ思うように指が動かず、指使いを意識して演奏するに課題がある児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想や音楽の構造に対する意識を高めていく指導が必要である。 ・鍵盤ハーモニカの演奏では、指使いを工夫することで、曲の流れや曲想が変わることを感じ取り、指使いに対する意識を高めていき、なめらかな演奏が身に付くようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現、鑑賞をする際に、曲想や音楽の構造を意識できるよう、事前に音楽を形づくっている要素について指導してから取り組ませる。 ・鍵盤ハーモニカの練習時には、階名唱と共に指番号唱も取り入れ、常に指使いを意識しながら指導する。
図 工	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しくのびのびと活動することができている。話を聞く姿勢や、作業工程を理解して授業に取り組むことに課題のある児童が見られる。 ・発想や技術面では個人差がある。発想を広げ、道具や材料を適切に扱うことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく意欲的に取り組む姿勢を持続させながら、全員が最後まで話を聞く姿勢を身につけることが大切である。 ・豊かな発想を生かし道具や材料を適切に使って表現できる指導をしていくことが大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・図工室のルール of 意義を繰り返し確認する。端的に説明をし、スモールステップで学習を進めていく。 ・授業の合間に児童の参考となる作り方や発想を紹介し、思いを広げられるようにする。ICT機器を利用し道具や材料の扱い方を丁寧に示す工夫をする。
体 育	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な運動能力に個人差がある。 ・ルールを守り、勝敗を受け入れる態度に課題がある。 ・運動の仕方を工夫して取り組むことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びを通して体の使い方を覚え、運動能力が身に付くよう指導していく必要がある。 ・ルールを守ってゲームに取り組む、勝敗を受け入れる態度を身に付ける必要がある。 ・動き方の工夫とは何かについて理解させて取り組ませる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら取り組める運動遊びの時間を計画的に設ける。 ・よい動きのポイントを示し、めあてをもたせて運動に取り組めるようにする。 ・コーディネーショントレーニングを取り入れる。 ・ルールを示し、勝敗を受け入れる態度（スポーツマンシップ）が表れている児童を称賛する。 ・チームで作戦を立てたり、よい動きを紹介したりして、工夫するよさを示していく。 ・教師や友達の動きの真似をし、動き方の工夫につなげることができるような言葉掛けをする。
道 徳	<ul style="list-style-type: none"> ・親切や思いやりの心が育ってきているが、他者への関心がまだ低いことに課題がある。 ・学習したことを自分のこととして考え、生活の中で生かしていくことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの児童の発言を促したり、ペアやグループでの話し合いをしたりして考えを広げ、多様な意見を認めていく必要がある。 ・児童にとって身近な資料や説話を工夫し、実践力を身に付けていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童相互の話し合いの視点を明確にし、話し合いしやすいようにする。また、自分の考えを発表しやすい学級づくりをし、友達との対話を通して自分の考えを広げられるようにする。 ・自身の日常の体験を想起させながら学習に取り組ませる。また、日常の様々な場面において、具体的な指導を積み重ねる。 ・役割演技や動作化を学習内で用いることで、登場人物の思いを考えられるよう指導する。